



地域の概要及び課題

【資源】

- 海流と、周囲の山林からの豊富な栄養塩供給により、魚種が多く豊かな漁場が形成
- 道の駅「潮彩市場防府」は、地域の消費者に対する魚食文化の発信拠点として機能

【課題】

- アイゴの食害が原因の一つと考えられる磯焼けが発生している地域がある
- 漁業者、住民等の藻場の重要性への認識・理解醸成

保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン

ブルーカーボンプレジットによる活動資金確保

食害防除・藻礁設置による藻場再生保全

活動を応援・参加するステークホルダー確保

アイゴの商品化を通じた漁業者の収入源確保

住民や周辺企業、漁業者の理解醸成・活動に関わってもらうきっかけづくり

防府市沿岸域
山口県防府市



R5年度モデル事業における取組内容および成果

藻礁の設置・モニタリング

- 「組み立て式鋳鉄藻礁システム」による藻場再生・定期モニタリング



【成果】

藻場再生に関わるデータを整理し、今後のモニタリング手法を検討するとともに、ブルーカーボンプレジット認証につながった。

アイゴ捕獲方法の開発

- 藻食性魚類アイゴをの効果的な捕獲方法や活用方法を考案



【成果】

地域のアイゴの動態について仮説を立てるとともに、漁業者が無理なく取り組める効果的なアイゴ捕獲方法が考案された。

アイゴ商品化

- 捕獲したアイゴの料理方法を開発及び商品化



【成果】

道の駅での試験提供や、料理人からの意見等を通じて、今後アイゴを商品化していくための目処をつけることができた。試作品の評価は好評であった。

エコツアー・セミナー

- 地域の里海の魅力や役割をテーマとしたエコツアーやセミナー



【成果】

当該テーマのエコツアーやセミナーに関心を持つ人がいることが分かった。漁業者・企業・行政関係者・市民等の多様な主体と、活動を行っていくための体制の基礎を作ることができた。

今後の課題および取組方針

- アイゴの捕獲、加工、販売までの一連のプロセスを継続的に実施し、アイゴを食べる文化醸成と、藻の食害防止につなげていく。
- 漁業者・企業・行政関係者・市民等と、里海づくりに関する具体的なプロジェクトにおいて連携していくための場づくりを行う。